



Cisco Vision Director ソフトウェア、言語パック、およびフォントのアップグレード

このモジュールでは、Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェア マネージャを使用した次の操作について説明します。

- サポートされているアップグレードパスで、既存の Cisco Vision Director を以降のリリースにアップグレードします。
- 言語パックおよびフォントをインストールします。

このモジュールでは、次のトピックについて取り上げます。

- [ベストプラクティス\(23 ページ\)](#)
- [前提条件\(24 ページ\)](#)
- [Cisco Vision Director を使用した既存のソフトウェアの更新\(25 ページ\)](#)
- [アップグレード作業\(25 ページ\)](#)
- [言語パックのインストール\(28 ページ\)](#)
- [フォントのインストール\(30 ページ\)](#)
- [次の作業\(31 ページ\)](#)

ベストプラクティス

注意:アップグレード前に RAID 設定を変更しないでください。

既存の Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバのアップグレードを開始する前に、次のベスト プラクティスを考慮してください。

- スケジュールされたイベントの前にアップグレードを完了および確認して予期しない問題を解決する時間が十分にある場合は、サーバでアップグレードを実行するのに適したダウン タイムを選択します。
- ソフトウェア リリースのハードウェアおよびソフトウェア要件、変更、重要事項、および警告の最新情報については、『Release Notes for [Cisco Vision Dynamic Signage Director Release 6.4](#)』を参照してください。
- Cisco Vision Director ソリューションをサポートする他のデバイスに必要なハードウェアおよびソフトウェア バージョンを確認します。必要に応じて、それらのデバイスをアップグレードします。たとえば、一般的に、DMP ハードウェアでは特定のファームウェア バージョンのみがサポートされます。または、Cisco Vision Dynamic Signage Director ソフトウェアがサポートする追加機能の提供には、新しいファームウェア バージョンが必要です。
- プライマリ サーバとセカンダリ サーバのバックアップおよび復元を実行します。
 - 現在アクティブなプライマリ サーバのバックアップを実行します。
 - スタンバイのセカンダリ サーバでバックアップ データを復元します。

前提条件

注:復元を実行するには、セカンダリ サーバで config サービスを実行します。

Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバでのバックアップおよび復元の詳細については、『[Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director](#)』[英語]の「[Backing Up and Restoring Cisco Vision Dynamic Signage Director Servers](#)」[英語] モジュールを参照してください。

- セカンダリ サーバをプライマリに格上げします。

セカンダリ サーバのプライマリへの格上げの詳細については、『[Cisco Vision Administration Guide: Dynamic Signage Director](#)』の「[Configuring Failover Between Redundant Cisco Vision Dynamic Signage Director Servers](#)」モジュールを参照してください。

- 格上げされたセカンダリ サーバにアクセスして、アップグレードを実行します。
- Linux シェルが誤って閉じられた場合やネットワークがドロップした場合に、中断したインストール プロセスからリカバリすることは困難です。アップグレード中にセッションが中断してもアップグレードの完了が妨げられないように、サーバコンソール接続方式の使用を強く推奨します。また、Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバに直接接続されているモニタおよびキーボードを使用して、Web ブラウザ インターフェイスにログインすることもできます。

前提条件

サーバをアップグレードする前に、次の要件を満たしていることを確認します。

- サーバで Cisco Vision Dynamic Signage Director リリース 6.3 以降を実行している。アップグレードパスに従っていることを確認するには、[6.4 のリリースノート](#)を参照してください。
- ISO アップグレード イメージをアップロードするサーバの IP アドレスがある。この情報を URL の一部として使用して、ISO アップロード ユーティリティにアクセスします。
- Cisco Vision Dynamic Signage Director についてサポートされているブラウザ バージョンがある。サポートされている最新のブラウザの詳細については、『[Cisco Vision Content Planning and Specifications Guide, Release 6.4](#)』の「[Rendered Versions and Support](#)」を参照してください。

アップグレードの準備

アップグレードプロセスを開始する前に、必ずすべてのデータをセカンダリマシンにバックアップしてから、電源を切ります。アップグレードする前に、必要に応じてリカバリできるように VM スナップショットを作成します。

リリース 6.4 にアップグレードする前に、仮想マシンが現在の導入の最小要件を満たしていることを確認します。[Cisco Vision Dynamic Signage Director のインストールまたはアップグレードの開始 \(11 ページ\)](#)を参照してください。仮想マシンが最小要件を満たしていない場合は、リリース 6.4 のインストール時に既存の設定がダウングレードされる可能性があります。

次の作業

- システムを Cisco Vision Dynamic Signage Director リリース 6.4 にアップグレードします。

Cisco Vision Director を使用した既存のソフトウェアの更新

Cisco Vision Dynamic Signage Director の ISO アップグレード手順には、次の作業含まれています。

1. Cisco.com のソフトウェア ダウンロード サイトからラップトップに、ISO サービスパックまたはアップグレードファイルをダウンロードします。
2. [Manage Software] > [Upgrade] インターフェイスを使用して、ラップトップから Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバに ISO ファイルをアップロードします。
3. [Manage Software] > [Upgrade] インターフェイスのインストール機能を使用して、ISO イメージをインストールします。

ISO アップグレード ファイル

Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバに複数の ISO アップグレード ファイルを保存できます。ファイルは、インストールするファイルを選択する [Manage Software] > [Upgrade] インターフェイスに、バージョン番号および ISO ファイル名とともに表示されます。

ディスク メンテナンス

ISO アップグレードファイルの自動エージング機能はありませんが、[Manage Software] インターフェイスでファイルを直接削除できます。TUI を使用して ISO ファイルを削除します ([Troubleshooting] > [Disk Monitoring] > [Delete Files] > [Clean upgrade ISO files])。

[System Status] インターフェイスにはディスク使用率のゲージがあります。または、TUI を使用してファイルシステム使用率を確認できます。

注: 現在のシステムに言語パックをインストールしている場合にディスク容量を維持するには、アップグレードする前に [Manage Software] > [Language Packs] タブを使用して言語ファイルを削除します。これらを削除しなくても、システムに問題はありません。ただし、アップグレード後は削除する言語ファイルが [Manage Software] インターフェイスに表示されず、ストレージに残ったままになります。

アップグレード作業

Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバをアップグレードするには、次の作業を実行します。

- [Cisco.com からの ISO アップグレード ファイルのダウンロード\(26 ページ \)](#) (必須)
- [Cisco Vision Director サーバでの ISO アップグレード ファイルのアップロードおよびインストール\(26 ページ \)](#) (必須)
- [Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバの再起動\(28 ページ \)](#) (必須)
- [言語パックのインストール\(28 ページ \)](#) (適宜)
- [フォントのインストール\(30 ページ \)](#) (適宜)

Cisco.com からの ISO アップグレード ファイルのダウンロード

Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバにインストールするためにアクセスできる場所(ラップトップ コンピュータなど)にアップグレード ファイルをダウンロードします。

ISO アップグレード ファイルをダウンロードする手順は次のとおりです。

1. Cisco Vision Director ソフトウェアのダウンロード サイトに移動します。

注: このサイトのページは、[Cisco Vision Director](#) 製品サポートページから、[Download Software] > [Cisco Vision Dynamic Signage Director] の順にクリックすると表示されます。

2. ISO アップグレード ファイルまたはサービス パック ファイル(使用できる場合)と、オプションのコンパニオン sha512checksum ファイルを選択してダウンロードします。

表 1 に、ISO アップグレードに使用されるファイル名の表記法を示します。

注:SV-DIRECTOR 用の ISO を選択してください。

表 1 ISO アップグレード ファイル名の表記法

ファイル名の表記法 ¹
■ SV-DIRECTOR-UPGRADE-6.4.0-XXX.x86_64.iso
■ SV-DIRECTOR-UPGRADE-6.4.0-XXX.x86_64.iso.filenameesum
■ SV-DIRECTOR-UPGRADE-6.4.0-XXX.x86_64.iso.filenameeSHAsum

1. 「XXX」は、ファイルのイメージのビルド番号を表します。

次のいずれかの方法を使用して、ファイルをダウンロードします。

- 両方のファイルを一度にダウンロードします。各ファイルを選択して、[Add to Cart] をクリックします。ダウンロード ページ上部で、[Download Cart (2 items)] リンクをクリックします。
 - 各ファイルを個別にダウンロードします。各ファイルのファイル選択ボックスの [Download Now] ボタンをクリックします。
3. (任意)ダウンロードからアップグレードファイルの整合性を確認するには、[Manage Software] の UI を使用して、.iso ファイルでチェックサムを確認します。

SHA512 チェックサムは、システムによって計算されて [Manage Software] UI に表示されます。UI に表示される内容とダウンロードされた SHA512 チェックサムを比較します。値は一致している必要があります。一致していない場合は、ダウンロードを再実行します。Uploading [タスク\(27 ページ\)](#)を参照してください。

Cisco Vision Director サーバでの ISO アップグレード ファイルのアップロードおよびインストール

Cisco.com から ISO アップグレードファイルをダウンロードしたら、[Manage Software] UI を使用してそのファイルを Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバにアップロードし、アップグレードイメージをインストールします。

前提条件

ファイルをアップロードするサーバの IP アドレスを確認します。Cisco Vision Dynamic Signage Director でサポートされているブラウザ バージョンを使用します。

言語パックのインストール

6. [Upload] をクリックします。ファイルがサーバに送信されます。

ISO のアップロードが完了すると、次のいずれかの状態になります。

- イメージが正常に確認およびアップロードされた場合は、ISO イメージがアップロードされたことを示すメッセージが表示されます。
- イメージのアップロードに失敗しました。アップロードを再試行します。

注意: アップロードには数分かかることがあります。アップロード プロセスの実行中は、ソフトウェア マネージャのページを更新またはリロードしないでください。中断すると、アップロード中の ISO イメージが破損します。

7. [Install] アイコンをクリックします。

注: 正常にアップロードされると、新しくアップロードしたアップグレード ISO ファイルのエントリが表示されます。表示されたチェックサムがシスコのダウンロード サイトのチェックサムと一致していることを確認します。

8. インストール プロセスが始まり、ステータス メッセージが表示されます。
9. インストールが完了すると、Cisco Vision Dynamic Signage Director サービスが再起動されます。

Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバの再起動

Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバをリブートする手順は次のとおりです。

1. インストーラとして TUI にログインします。TUI のメイン メニューが表示されます。
2. [Cisco Vision Server Administration] メニューに移動します。
3. [Reboot] を選択します。
4. 確認プロンプトで、Y を押して再起動プロセスを開始します。

言語パックのインストール

注: 言語パックは、リリース固有です。6.4 用の言語パックが利用可能になったら、関連する言語パックをアップロードしてインストールします。必要な 6.4 リリースのインストールまたはアップグレード後に、リリース 6.4 の言語パックをインストールします。

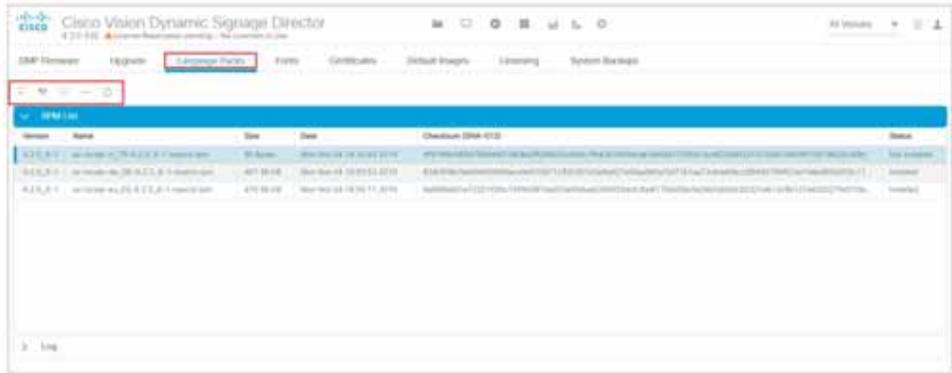
言語パックを個別にインストールすることで、サポートする必要がある特定の言語のみをアップロードおよびインストールします。Cisco Vision Dynamic Signage Director を使用して言語パックのアップロードおよびインストールを実行します。

言語パックをインストールする手順は次のとおりです。

1. Cisco.com から目的の言語パックをダウンロードします。
2. 管理者として Cisco Vision Dynamic Signage Director にログインします。
3. [More] > [Manage Software] に移動します。
4. [Language Packs] タブ([図 29 ページ](#))をクリックします。

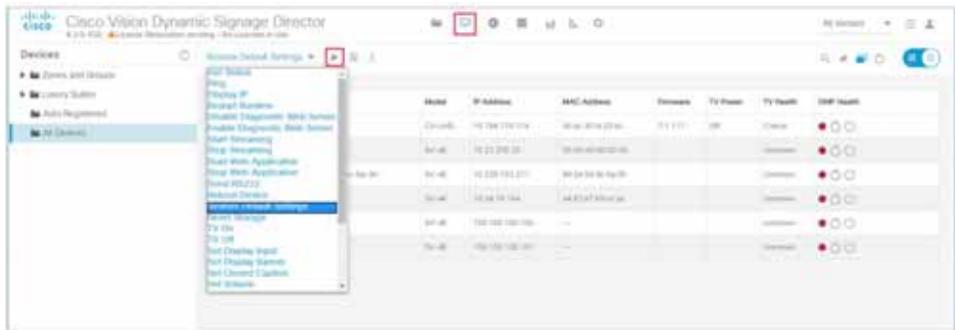
言語パックのインストール

図 2 [Language Packs] タブ



5. [Upload] をクリックします。
6. [File Upload] ダイアログ ボックスで、ダウンロードした言語パック RPM ファイルに移動して、[Open] をクリックします。言語パックがサーバに送信されます。
7. [Install/Upgrade] をクリックして、言語パックをインストールします。
 注: セカンダリ Cisco Vision Dynamic Signage Director サーバを使用している場合は、プライマリ サーバとセカンダリサーバの両方に言語パックをインストールしてください。
8. デジタル メディア プレーヤーにロケールを転送するには、次の手順を実行します。
 - a. [Device Management] > [Restore Default Settings](図 3(29 ページ))の順にクリックします。
 - b. [Devices] パネルで、デジタルメディアプレーヤーを選択します。
 - c. コマンドを実行するには、[Play](コマンドの送信)アイコンをクリックします。

図 3 デバイス管理でのデフォルト設定の復元



9. コンテンツをデジタル メディア プレーヤーにステージングします。
 詳細については、『Cisco Vision Director Operations Guide』の「Staging Content to the Media Player」トピックを参照してください。

フォントのインストール

注: 次のガイドラインに従って、ウィジェット ツールで使用する新しいフォントをシステムにインストールします。これらのフォントは、外部の HTML ページには使用されません。このセクションは、次のトピックで構成されています。

- [フォントのインストールに関するガイドライン\(30 ページ\)](#)
- [手順\(30 ページ\)](#)

フォントのインストールに関するガイドライン

注: Cisco Vision Director では、メディア プレーヤー ファームウェアに unifont.ttf フォントが組み込まれています。つまり、CSS で明示的にフォントを参照しない外部の HTML ページに対するフォールバック フォントとして、このフォントを使用できます。

フォントをインストールする前に、次のガイドラインを考慮してください。

- メディア プレーヤーでシステム メモリを節約するには、最小セットの必須文字があるフォントをインストールします。
- 中国語のような(より多くの字形を含む)アジア言語には、より多くのメモリが必要です。
- フォールバックフォントは Arial です。これは、ウィジェットまたは外部 URL が使用できないフォントを参照している場合に、デフォルトフォントとして使用されます。
- サポートされるのは、True Type フォント(.ttf)と OpenType フォント(.otf)のみです。

手順

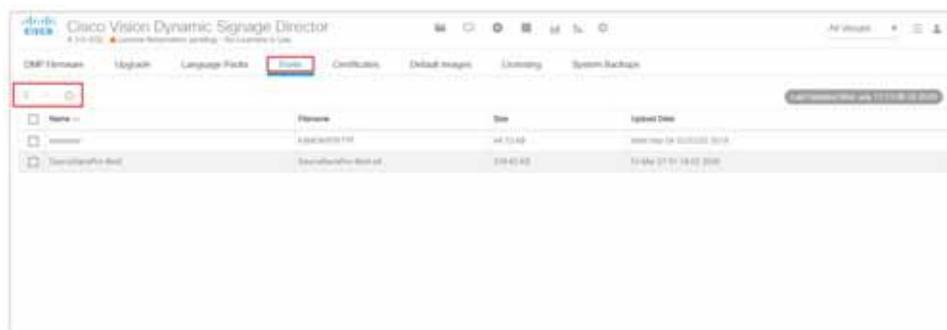
フォントをインストールする手順は次のとおりです。

1. 目的のフォントを取得します。

注: フォントは TrueType(.ttf)または OpenType(.otf)である必要があります。

2. 管理者として Cisco Vision Dynamic Signage Director にログインします。
3. [More] > [Manage Software] に移動します。
4. [Fonts] タブ([図 4\(30 ページ\)](#))をクリックします。

図 4 [Fonts] タブ



5. [Upload] をクリックします。

次の作業

6. [Font Upload] ダイアログ ボックスで、次の手順を実行します。
 - a. [Choose] をクリックします。
 - b. フォント ファイルの場所に移動して、[Open] をクリックします。
 - c. [Upload] をクリックします。
7. コンテンツをメディア プレーヤーにステージングします。

詳細については、『[Cisco Vision Director Operations Guide](#)』の「Staging Content to the Media Player」トピックを参照してください。

次の作業

- [アップグレードの確認\(33 ページ \)](#)の手順に従って、アップグレード プロセスが正常に完了したことを確認します。
- [付録 A: アップグレード後チェックリスト\(53 ページ \)](#)を使用して、必要な確認手順を実行します。
- DMP 証明書をインポートします。『[Cisco Vision Administration Guide: Release 6.4](#)』または『[Release Notes for Cisco Vision Dynamic Signage Director, Release 6.4](#)』の「Importing Certificates on the DMP」を参照してください。

次の作業